

ロシアと米国のディーゼル燃料取引が進展 トランプ政権の対中「封じ込め戦略」を後押し

https://korybko.substack.com/p/the-russian-us-diesel-deal-advances?utm_campaign=post&utm_medium=web

中国は、米国の対ロシア制裁に対抗し、ウクライナへのドローン関連製品の販売を停止することで、多極化を一気に加速させる道を選ばなかった。その結果、今度はロシアが米国との資源協力を通じて中国への圧力を強め、中国の超大国化を阻む側に回ろうとしている。皮肉な展開といえる。

トランプ米大統領は金曜日、ロシアのプーチン大統領との間で、ディーゼル燃料の供給について合意したと発表した。

トランプ氏によると、ロシアは米国および世界市場に向けて、直ちに 30 万トン以上のディーゼル燃料を供給する。さらに 11 月中に 50 万トン、その直後に 100 万トンを追加供給する。加えて、ロシア国内の製油所の稼働状況によっては、比較的短期間のうちに 300 万トンを供給するという。

今回の合意は、両国が長期にわたって協議してきた、資源協力を中心とする関係改善に向けた新たな一歩となる。

こうした構想については、2024 年 11 月に初めて指摘し、トランプ氏の大統領復帰直前の 2025 年 1 月にも詳しく論じた。最近では 10 月初旬、ロシアとドイツを結ぶ天然ガスパイプライン「ノルドストリーム」への

米国の出資構想が報じられる中で、改めて分析した。

これまでの分析を要約すると、ロシアと米国には、資源分野での協力を強化する共通の利益がある。こうした利害関係は、第 3 次湾岸戦争が始まる以前から存在していた。

ロシアにとって重要なのは、過去 5 年近くにわたる西側諸国の前例のない制裁によって、中国への依存度が過度に高まる事態を防ぐことだ。

一方、米国もロシアの中国依存を抑えたいと考えている。それと同時に、中国がロシアの資源開発に関与する機会を減らすことも狙っている。

米国企業がロシアの資源開発事業に投資すれば、その分だけ中国企業が参入できる余地は小さくなる。将来的には、米国の制裁を免除されたインド、日本、韓国などのアジアの同盟国や友好国が投資に加わる可能性もある。

こうした米国の長期的な戦略は、エルブリッジ・コルビー国防次官（政策担当）が提唱する「拒否戦略（Strategy of Denial）」と呼ばれるものだ。

コルビー氏は、NATO の役割を再編する「NATO 3.0」や、中国への封じ込めを強化するため、米国の戦略的な重点を再び東アジアに移す政策の立案者とみられている。

米国はすでに、ベネズエラの石油輸出を管理下に置いている。また、完

全ではないものの、湾岸地域に対する海上封鎖を通じて、イランやアラブ諸国のエネルギー輸出にも影響力を及ぼしている。

これにより米国は、中国が超大国へと成長する速度を抑えるための有力な手段を手にした。

現在、中国が必要とする輸入エネルギーのおよそ半分は、何らかの形で米国の影響を受ける状況にある。

米国がウクライナ和平交渉の一環として、ロシアとも双方に利益のある資源取引を進めれば、中国に対する圧力はさらに大きくなる。

米国の最終的な狙いは、中国に不利な条件での貿易協定を受け入れさせることだ。それによって中国の超大国化に歯止めをかけ、米国に次ぐ有力大国の地位にとどめようとしている。

つまり、中国が米国主導の国際秩序に挑戦する力を弱めることが、この戦略の目的である。

ロシア政府の当局者が公の場で認めることはないだろうが、ロシア側は中国の対応に強い失望を抱いていると考えられる。それが、ロシアが米国の構想に協力する理由の一つになっているとみられる。

中国は米国の制裁圧力を受けて、大規模なエネルギー開発事業から撤退した。それだけではない。中国が本部を置く BRICS や上海協力機構（SCO）の関連銀行まで、米国の制裁措置に従っている。

さらに中国は現在も、ウクライナにドローンやその交換部品、光ファイバーを販売している。こうした製品は、NATO が支援するウクライナの対ロシア戦争を長引かせることにつながっている。

中国には、米国の対ロシア制裁に対抗し、ウクライナへのドローン関連製品の供給を停止することで、多極化を大きく前進させる選択肢があった。しかし、中国はその道を選ばなかった。

その結果、今度はロシアが米国との資源協力を深め、米国による対中圧力を一段と強めようとしている。これが中国の超大国化を阻むことになれば、皮肉な結果といえる。

中国には、ロシアを全面的に支援することで、国際秩序の形成に主導的な役割を果たす機会があった。しかし、中国はそれを見送った。

そして今、ロシアが米国への協力を通じて、国際秩序の行方を左右しようとしている。